



Since 1981

東接骨院

TELFAX 0465-63-0981

R1 月号 第387

元気情報

各種保険取扱

スポーツの怪我の克服

交通事故の痛み除去



受付時間
平日 午前8時~12時
午後3時~7時

土曜日 午前8時~12時
休診日 日曜日・祝祭日



接骨院だより



先月8月の後半には、朝晩がかなり涼しくなり、窓を開けて寝ると明け方寒いぐらいでした。

夜には虫の音があちこちで聞けて、あの酷暑が嘘のように感じました。

しかしまだ残暑はあると思いますので、体調には気を付けてください。

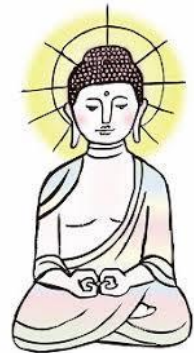
雑誌を見ていたら静岡県伊豆の国市、韮山のそばにある「願成就院」というお寺に「運慶」が制作した仏像(国宝)があることが分かり、さっそく行ってきました。



天守君山願成就院は、高野山真言宗に属します。創建は奈良時代と伝えられていますが、確かなことは、1189年尼将軍北条雅子の父で鎌倉幕府初代執権北条時政が、建立したものです。

伽藍構成は奥州平泉の毛越寺を模したものでした。

寺の創建時より大御堂にお祀りされてきた本尊阿弥陀如来坐像、不道明王立像など五体の尊像は、胎内に納められていた四枚の五輪塔婆形銘札によって文治二年(1186)に時政の発願により運慶が謹作した仏像であることが明らかになりました。運慶35歳頃のこととされています。



2度の火災にあって阿弥陀如来は顔や指に損傷がありますが、その気高さは見事で、ほかの仏像も800年以上も前のもの

とは思えないほどきれいです。

これほど近いお寺に国宝の仏像が五体もあるとはびっくりしました。

ご興味のある方は是非ご覧になってください。

裏表紙にも写真を載せています。

高齢者肺炎の特徴

先日、小田原・南足柄を含む2市8町の私たち接骨院グループの顧問委・小田原・小林病院理事長の小林 泉先生の医療講演がありましてその内容についてお知らせいたします。

高齢者肺炎の病態は、免疫能の低下や誤嚥のリスクによって形成されていることから、典型的な臨床症状を呈さず、いわゆる肺炎の特徴的な検査所見や画像所見が得られないことがあります。



咳反射が弱っていることから咳や痰などの一般の肺炎の所見が見えづらく、免疫能が低下していることから発熱を呈しにくいのです。

食欲低下、意識レベルの低下、活動度の低下など症状から肺炎と診断されることがあります。

血液検査では白血球上昇などの急性炎症反応がみられないことがあります。

胸部X線では、免疫不全患者では一般的に異常陰影を呈しにくいことがあります。

このように高齢者肺炎は患者本人にそれほど症状が出ずらかったり、して発見が遅くなることがあるので、注意してください。

成人若年肺炎と比較した場合の特徴

症状

呼吸器症状を呈しにくい

発熱を呈しにくい

食欲や意識レベル低下の非典型的な症状を呈しやすい

検査

血液検査では白血球の上昇がみられにくい

胸部X線では、異常陰影を呈しにくい

合併症

尿路感染など他の感染を合併することがある

原因菌

口腔内常在菌が占める割合が多い

耐性菌が検出されるが、原因菌とは限らない

重症度の判定

一般的な重症度スコアで判断しにくい

予後

不良

このように、一般的な肺炎と高齢者のものはかなり異なるのと、

高齢者の場合は、体力も弱っていて、症状がそれほど重篤でなくとも危険なこともあります。

お彼岸

荒 木 徹

立秋も過ぎ、暦では秋になりましたがまだまだ暑い日が続きますね。暑さ寒さも彼岸までという言葉があるようにお彼岸頃には暑さが和らいでくれるといいのですが…。

そこで今回はそのお彼岸についてのあれこれを調べてみました。

お彼岸のお供え物として欠かせないのがおはぎ。一般的におはぎと呼ばれることが多いですが、実は春と秋のお彼岸で呼び方が変わります。春のお彼岸では季節の花である牡丹に見立ててぼたもちと呼び、秋のお彼岸では萩の花に見立てておはぎと呼ぶのです。



この他にもぼたもちとおはぎの違いには諸説あるようです。例えば、ぼたもちがこしあんでおはぎが粒あんと言う説です。この違いが生まれた原因は小豆を収穫する時期が秋なので収穫してすぐは皮が柔らかいので粒あんにしておはぎを作り、一方で、秋に収穫して冬を超え皮が固くなった小豆を利用して作るぼたもちには固い皮をそのまま使うことが出来ないため皮を剥いてこしあんにしたと言われていました。

その他には、ぼたもちとおはぎで大きさと形が違うと言う説。ぼたもちが牡丹の花の形に由来して大きな丸型。おはぎは、萩

の花の形に由来して小ぶりで俵型になったとも言われています。

これらは、地域やお店などによっても違いがあり様々な諸説があるようです。

お彼岸と言えば秋のお彼岸の時期に咲く彼岸花があります。彼岸花は曼珠沙華(まんじゅしゃげ)や死人花、幽霊花などと呼ばれ、植物界で一番多くの別名があり、その数なんと 1050 もあると言われています。この彼岸花に怖い、縁起が悪いなどのような不吉なイメージを感じたことはないでしょうか。

彼岸花はお墓によく咲いていることから不吉なイメージを感じるようです。触ると手が腐る、死んでしまう、持って帰ると火事になるなどの迷信があることも不吉なイメージを連想させているようです。これは、彼岸花の球根に毒があることや赤い花の形が燃え盛る炎に似ていると言う事からこのような不吉なイメージがついたそうです。

昔は土葬だったため、モグラやネズミに遺体を荒らされように球根に強い毒を持つ彼岸花を人為的に植えた事で、お墓には彼岸花がよく見られるのです。

しかし、彼岸花の花言葉を知れば不吉なイメージが変わるのではないのでしょうか。彼岸花と言えば赤のイメージが強いですが、他にも黄色と白色の品種があります。それぞれ花の色によって異なる花言葉をあります。

赤色の彼岸花には、「情熱、想うはあなた一人、再会、また会う日を楽しみに」などのように大切な人の事を想う素敵な意味の花言葉を持っています。

黄色の彼岸花には「陽気、元気な心、深い思いやり、追想」などのように明るいイメージや優しいイメージの花言葉を持っています。

白色の彼岸花は、赤い花と同様に「想うはあなた一人、また会う日を楽しみに」などの花言葉を持っています。

これから彼岸花が咲く季節になりますのでもし見つけた時にはこの花言葉を思いだして鑑賞してみてください。

膀胱炎

排尿痛、頻尿、尿混濁、血尿のどの症状が膀胱炎にあります。

膀胱は筋肉層が厚く、細菌が膀胱壁を超えて血液に侵入することはありません。

最近が腎臓を通して血液内に侵入すると腎盂腎炎として発熱します。



女性に多く見られるのは、膀胱からの尿道が男性の比べて短く、細菌の繁殖しやすい腔に近いからです。

ほとんどの膀胱炎は細菌感染のため抗菌薬を7~10日間ほど服用すれば完治します。

症状は2~3日で軽減しますが、薬を自己判断で中止すると膀胱内の残っている細菌が強くなり繁殖してしまい、難治性膀胱炎に進展することがあります。

医師の指示に従い服用してください。

またしっかり水を飲みトイレに頻回に行くことが重要です。



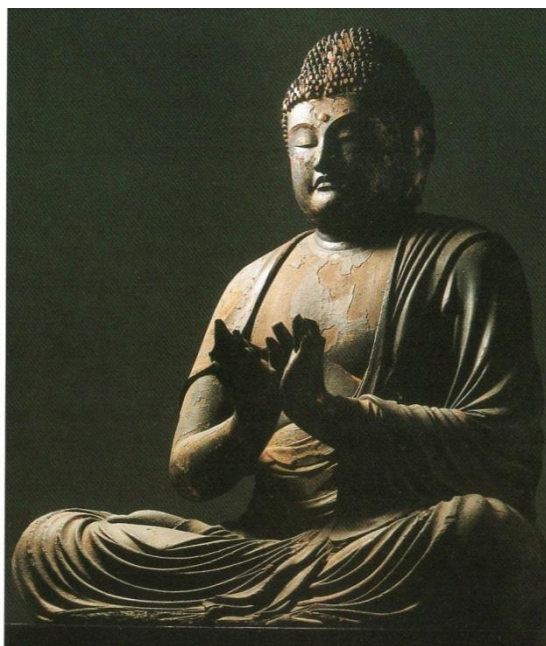
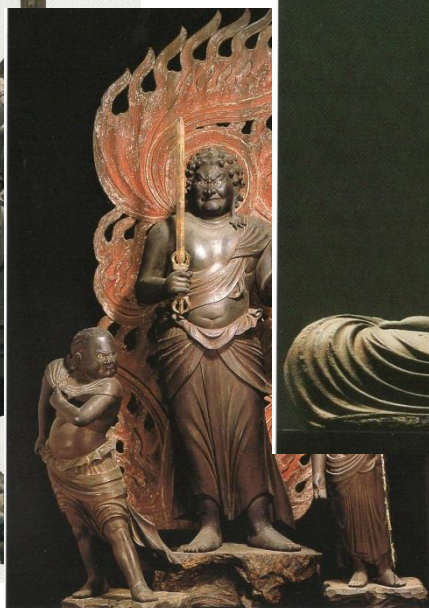
一度膀胱炎にかかると、生活習慣・身体状況が膀胱炎になりやすくなっていますので、仕事や家事に追われてトイレに行くことを我慢するようなことは決してしないでください。



Assoc.sato だより



湯河原・佐東接骨院



運慶作の国宝仏像 「願成就院」

真鶴・おおみち接骨院

8月18日（土）には真鶴漁港で豊漁豊作祭が行われ、浴衣を着た人が多く集まり盆踊りなどで大きな賑わいを見せていました。

